



# ひとりだち

令和7年度  
下羽栗小学校  
学校だより  
R7. 5. 21

## 学校の風土

5月の初めごろ、学校のすぐ北にある商店（通称「れいちゃんち」）の店主、Rさんから学校にお手紙が届きました。美しい毛筆で書かれたその手紙には、2年生の男の子Yさんが、登校時、近所にお住まいのご高齢のKさんに、必ず「おはよう」とあいさつをしていること、あいさつを交わすKさんも大変うれしく思っていることが書いてありました。毎朝、商店の前で子どもたちの登校の様子を見守り、笑顔であいさつをしてくださるRさんが、地域の中で耳にされた子どもの素敵な姿をわざわざ知らせてくださったのです。2年生の男の子Yさんとご高齢のKさんとのやりとり、それをRさんにうれしそうにお話しされるKさん、そして学校にそれらのことを教えてくださるRさんの笑顔の思い浮かべ、何ともしあわせて温かい気持ちになりました。

学校には、その学校ならではの雰囲気、文化があります。それは、「学校の風土（ふうど）」とも言われます。4月に下羽栗小学校に赴任し、始業式で子どもたちの歌う校歌を聴いた時、胸にこみ上げるものがあったのは、30年経っても変わっていない、何とも素直で明るく温かい下羽栗小学校の風土を感じ取ったからではないかと思っています。

あさがおに名前をつけて毎朝話しかけながら水やりをする1年生、自主学習「くり勉」ノートで1冊終わらせて得意顔で報告してくれる2年生、1年生の子の顔を覗き込むようにして優しく話しかけるくりの実学級の子、休み時間に担任の先生と一緒に遊ぼうと、元気よく運動場に飛び出していく3年生、伸びやかな声で、歌う喜びを表現している4年生、協同学習とよぶ小集団での話し合いで、仲間の話をうなずきながら聞く5年生、体育館のトイレをきれいにしようと水はねも気にしないで掃除する6年生、通学路で止まってもらった車のドライバーさんにお辞儀をする高学年……そうした子どもの姿が見られる下羽栗小学校には、素直で明るく温かいという学校風土があります。これは、Rさんの手紙からも感じられるように、温かい関わりをもちながら子どもの成長を見守ってくださる「下羽栗」という地域だからつくられてきたものではないかと思えます。

5月15日には、民生委員の方々に学校訪問をしていただきました。主任児童委員や民生委員の皆様が、子どもたちの様子をご覧になって「落ち着いた環境の中で安心して学んでいますね。」「教室に入ると温かい感じがしました。」と話してくださいました。

毎朝の登校や下校時には、見守り隊の皆様が子どもたちの安全のために活動してくださっています。クラブ活動や鼓笛では、地域の方が講師を務めてくださっています。また、先日も地域の企業の方がボランティアで校内の美化活動に取り組んでくださいました。

5月24日（土）には運動会、29日（木）には学校運営協議会があります。地域には、子どもたちの味方、学校の応援団でいてくださる方が大勢いらっしゃることに感謝して、これからも素直で明るく温かいという下羽栗小学校の風土を大切にしたいと思っています。

## 行事予定6月

2日（月）1,2年サツマイモ苗植え（予備5日）  
3日（火）鼓笛  
4日（水）児童委員会  
6日（木）6年プール掃除  
10日（火）校内研究会  
（3年生は14：50下校、他は13：15下校）  
11日（水）体力テスト（低）クラブ  
12日（木）体力テスト（高）  
13日（金）体力テスト（中）

17日（火）郡研究会  
（4年生は14：50下校、他は13：20下校）  
18日（水）プール開き 委員会  
24日（火）鼓笛  
25日（水）クラブ  
26日（木）校内研究会  
（6年1組は14：50下校、  
他は13：20下校）



写真：「かみふうせん」による読み聞かせ